

ふるさとの地名編

上土田

八幡太郎義家の四万の兵伝説

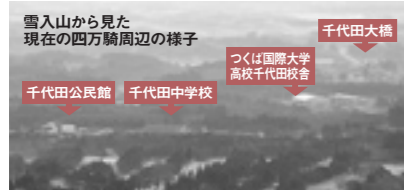
かすみがうら市の中央部に「上土田」があります。上土田には「四万騎」という小字が残されており、ここには伝説があります。昔、八幡太郎義家（源義家）が奥州征伐の途次、この地で四万の兵を休ませた、あるいは四万の兵をこの地で募ったところから「四万騎」と呼ばれるようになったといわれています。

現在のデータ

千代田地区の旧新治村に所属。現在の新治地区内にあり、住所大字としても使用されている。

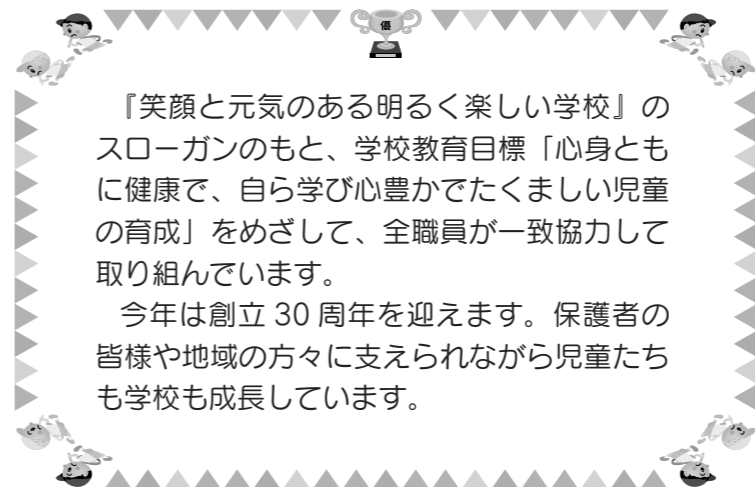
います。

千代田地区にはこの他、西野寺の胎安神社に八幡太郎義家の安産祈願伝承と地福院に戦勝祈願伝承、東野寺の子安神社の安産祈願と衣替え伝承、馬立の馬によるタタラ（鉄を溶解させるための送風装置）踏み伝承と義家の馬のくつわを松の木に掛けたという伝承など、いくつもの八幡太郎義家の伝承があります。平安時代に実際に実施された奥州征伐は、「後三年の役」「前九年の役」として日本史に登場してきます。この戦いの際に常陸国を通った様子がつた様子が伝説化しています。



下稲吉東小学校

創立30周年を迎え 更なる成長を



『笑顔と元気のある明るく楽しい学校』のスローガンのもと、学校教育目標「心身ともに健康で、自ら学び心豊かでたくましい児童の育成」をめざして、全職員が一致協力して取り組んでいます。

今年は創立30周年を迎えます。保護者の皆様や地域の方々に支えられながら児童たちも学校も成長しています。

一日のスタートは あいさつから



あいさつゾーンで元気なあいさつ

人とかかわりで大切なのはあいさつです。多くの人とかかわる一日のスタートとして、朝のあいさつはとても重要です。本校では昇降口前にあいさつゾーンを設置しています。そこで、登校時の班長がリーダーとなって朝のあいさつをしています。校門では校長先生と教頭先生が、昇降口では担任外の先生が、教室では担任の先生が児童を迎え、児童とともに元気なあいさつを交わっています。

人とかかわりから 大切なことを学ぶ

清掃の時間、5・6年生が班長

となつて縦割りのグループで活動しています。上級生が下級生を面倒見ながら一生懸命汗を流しています。その姿を見て下級生も黙々と掃除をしています。休み時間には異学年でボール遊びやおいかけっこをする姿があちこちで見られます。先日行われました運動会には、縦割りグループによる種目がありました。高学年が、低学年のことを考えながらも自分たちの組のために一生懸命になって応援している姿がとても印象的でした。このような学年混合のグループによる活動を通して、子どもたちは社会で生きていくためのルールやマナー、相手をいたわり思いやることを学んでいます。

学年混合による種目「下東小ハリケーン」



学年混合による種目「下東小ハリケーン」

自分の技を磨く

本校には、4年生以上が参加するバトン部、ブラスバンド部、合唱部の3つの部活動があります。練習は、昼休みや放課後、夏休みですが、一人一人が自分の技術を高めるために努力しています。業間休みにもバトンを練習する姿が見られます。一生懸命に練習して磨いた技を合唱コンクールや運動会で披露しています。



バトン部の技を披露

文芸ひろば

俳句

川底の石みな丸く水澄めり 群れ翔ちて後れとらじと稲雀 秋の風運河の扉閉ぢてをり 浅間山は父の思い出吾亦紅 しなやかに風と戯る萩白し 萩乱し小紋を敷いて風去りぬ あるがまま生きたしと思ふ秋日和白萩のひとつとくくる納戸うら あのひとつがあんなかおしてなしばたけ 新涼や遙けき友の便り添え 三周忌ひときわ紅き彼岸花

短歌

湖面吹く風はさわやか浦波の護岸に佇み友と憩えり 採りたての茗荷きざめばその香り厨にいっぱいに広がりゆけり 湖の辺に深々打たれ水漬く杭悲傷の一羽ゆるり休まず カルデラの白根の湖は碧沈め草木も生えず鳥影もなし 一ツ咲き落ちては一ツ又咲ける木槿の白の哀しみをみる 初咲きのコスモス今朝の食卓にそこはかとなく秋のしづもり 霞浦の地に古の由来多くあり学ばむ思ひ第二ふるさと

枝 力(稲吉) 江崎慶子(稲吉東) 中島暉子(下志筑) 加藤貞江(稲吉) 石塚文子(牛渡下郷) 車田きみ(大和田) 小松崎正栄(戸崎) 松葉ふみ(内加茂) 宮本てるみ(横堀) 渡辺静江(稲吉東) いいだいさお(上稲吉) 橋本とし(粟田) 畑百合子(上佐谷) 的場登志子(上土田) 目黒しづ子(稲吉東) 飯島ヒロエ(三ツ木) 小貫弘子(牛渡) 小室貞江(西成井)